

朝鮮語の連用修飾的複文

黒島規史, 孫ミナ

1. はじめに

朝鮮語は日本語と同じく、接続形式(韓国では *yenkyel#emi* (連結語尾), *cepsok#emi* (接続語尾) などと呼ばれる)が発達している。ここでは連結語尾と呼んでおく。例えば, Nam Kisim, Ko Yengkun (2011³: 403-404) では、もちろん全てではないが、次のような朝鮮語の連結語尾を挙げている。日本語訳は引用者による。本稿のアンケートの回答で用いられた形式には下線を引いてある。

一つ以上の事柄を羅列するもの: -ko, -(u)mye

一つ以上の事柄が同時に起こることを表すもの: -(u)myense

二つの事柄がほぼ同時に連続して起こることを表すもの: -ca

互いに相反することを表すもの: -(u)na, -ato/eto/letu, -cimanun, -lato¹, -toy

条件や仮定を表すもの: -(u)myen, -tamyen/lamyen, -ketun, -telato

理由や原因を表すもの: -(u)nikka, -(u)mulo, -ase/ese/lese,

ある事柄の結果や状態の持続を表すもの: -ase/ese/lese

一つの事柄が他の事柄に替わることを表すもの: -taka

他の事柄がさらに加えられたり、段々と程度が高くなっていくことを表すもの:

-(u)lppwuntele, -(u)lswurok

意図を表すもの: -(u)lyeko, -koca

目的を表すもの: -(u)le

どちらでも関係ないことを表すもの: -kena, -tunci

必ずそうしなければならないことを表すもの: -aya/eya/leya

ある事柄の背景を表すもの: -nuntey, -(u)ntey²

ある行為がある程度まで達したことを表すもの: -tolok

2. 朝鮮語の連用修飾的複文

ここから朝鮮語の連用修飾的複文について見ていく。例文の朝鮮語はハングル表記と Yale 式ローマ字転写で提示する。【】内は、本特集のアンケートで与えられた分類である。

¹ -lato は指定詞(コンピュータ)に付く形であり、その前の -ato/eto/letu のヴァリエントである。

² -nuntey は動詞に付く形であり、-(u)ntey 形容詞、指定詞(コンピュータ)に付く形である。

例文中の連結語尾には CVB (converb) としてグロスを付し、継起や条件など個々の連結語尾の意味は示さないこととする。

【同時動作】

- (1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。

그는 항상 신문을 보면서 밥을 먹는다.

ku-nun hangsang sinmun-ul po-myense pap-ul mek-nunta.
彼-TOP いつも 新聞-ACC 見る-CVB ご飯-ACC 食べる-DEC

(1) で用いられている連結語尾 -(u)myense は日本語の「ながら」と似て、従属節と主節の動作が同時に行われることを表す。この場合、従属節と主節の主語は同一でなければならない。-(u)myense 「彼はそのことを知りながら、知らないふりをしていた」のように逆接的な意味を表せる点も共通している。しかし、-(u)myense は異主語になり契機的な意味も表せる点は日本語の「ながら」と異なる。

【継起的動作・物語的連鎖】

- (2) 昨日は 10 時に家に帰って、少しテレビを見て、寝ました。

어제는 10 시에 집에 와서 잠깐 TV 를 보고 잤습니다.

ecey-nun 10 si-ey cip-ey w-ase camkkan TV-lul po-ko
昨日-TOP 10 時-DAT 家-DAT 来る-CVB 少しの間 テレビ-ACC 見る-CVB
ca-ss-supnita.
寝る-PST-DEC.POL

(2) では「帰って」は -(a/e)se という連結語尾を用いるが、「見て」は -ko という別の連結語尾を用いる。-(a/e)se と -ko について、前者はより主節との結びつきが強く、この例に見るように移動動詞と共に用いられ、あるいは次の (3) に見るように原因、理由を表したりする。後者はより主節との結びつきが弱くと説明されるが、両者の違いについて、はっきりしないところも多い。

【継起：理由】

- (3) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。

어제 계단에서 넘어져서 다쳤다.

ecey kyeytan-eyse nemecy-ese tachy-ess-ta.
昨日 階段-LOC 倒れる-CVB 怪我する-PST-DEC

(3) では, (2) の cip-ey w-ase (家に帰って) と同じ連結語尾が用いられている.

【異主語】

(4) 今日も父は会社に行き、兄は大学に行った.

오늘도 아버지께서는 회사에 가시고 형은 대학에 갔다.

onul-to apeci-kkeyse-nun hoysa-ey ka-si-ko hyeng-un tayhak-ey ka-ss-ta.

今日-も 父-HON.NOM-TOP 会社-DAT 行く-HON-CVB 兄-TOP 大学-DAT 行く-PST-DEC

(4) では, (2) の TV-lul po-ko (テレビを見て) で用いられた連結語尾と同様の形式を用いている. このような異主語の場合, (3) で用いられた連結語尾 -(a/e)se は用いられない.

【付帯状況】

(5) (あの人は) 今日は帽子をかぶって歩いていた.

(그 사람은) 오늘은 모자를 쓰고 걸어가고 있었다.

(ku salam-un) onul-un moca-lul ssu-ko kel-e-ka-ko iss-ess-ta.

あの 人-TOP 今日-TOP 帽子-ACC かぶる-CVB 歩く-CVB-行く-CVB いる-PST-DEC

この (5) においても, (3), (4) で用いられたのと同様の連結語尾 -ko が用いられている. (2) から (5) を見るとわかる通り, 日本語ではテ形で表されるような意味が, 朝鮮語では主に連結語尾 -ko, -(a/e)se で表される. この他にも日本語ではテ形で表しうような意味を, 朝鮮語では他の形式で表すことがある. この点については3章で後述する.

【並行動作】

(6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています.

(나는) 쉬는 날은 항상 책을 읽거나 TV를 봅니다.

a. (na-nun) swi-nun nal-un hangsang chayk-ul ilk-kena TV-lul po-pnita.

わたし-TOP 休む-ADN 日-TOP いつも 本-ACC 読む-CVB テレビ-ACC 見る-DEC.POL

(나는) 쉬는 날은 항상 책을 읽기도 하고 TV를 보기도 합니다.

b. (na-nun) swi-nun nal-un hangsang chayk-ul ilk-ki-to ha-ko,

わたし-TOP 休む-ADN 日-TOP いつも 本-ACC 読む-NMLZ-も する-CVB

TV-lul po-ki-to ha-pnita.

テレビ-ACC 見る-NMLZ-も する-DEC.POL

日本語の「たり」と類似した意味を表す連結語尾に -kena があるが, 朝鮮語では従属節

以外に主節でも連結語尾を繰り返すとやや不自然な文になる。また、(6b) のように動詞の名詞形と軽動詞 *hata* を用いることにより「～することもするし、…することもする」のように表すことも可能である。

【理由・カラ】

(7) 時間がないから、急いで行こう。

시간이 없으니까 서둘러 가자.

sikan-i eps-unikka setwulle ka-ca

時間-NOM ない-CVB 急ぐ.CVB 行く-COHOR

朝鮮語の理由を表す接続語尾は大きく *-(u)nikka*, *-(a/e)se*, *-(u)muro*, *-nurako* の4つをあげることが出来る。朝鮮語の550万単語規模のコーパスからの出現頻度を調べた調査を見ると、*-(a/e)se* (40485回)の頻度が一番高く、その次に *-(u)nikka* (11503回)、*-(u)muro* (2516回)、*-nurako* (301回)の順に高く現われた。³

日本語のカラとノデは文の丁寧さによって使い分けることが出来るが、朝鮮語の *-(u)nikka* と *-(a/e)se* の意味の違いは丁寧さではない。*-(a/e)se* と *-nurako* は命令文や勧誘文には用いられないという制約があるため、(7)では *-(a/e)se* と *-nurako* を用いることが出来ない。朝鮮語の命令文や勧誘文において理由を表わす際は主に *-(u)nikka* が用いられる。したがって、(7)でも *-(u)nikka* を用いる文が自然である。

【理由・ノデ】

(8) 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。

어제는 머리가 아파서 평소보다 일찍 잤습니다.

ecey-nun meli-ka aph-ase phyengso-pota ilccik ca-ss-supnita

昨日-TOP 頭-NOM 痛い-CVB いつも-COMP はやく 寝る-PST-DEC.POL

(8)では *-(a/e)se* を用いることがもっとも自然であるが、*-(a/e)se* の代わりに *-(u)nikka* を用いると「頭が痛い」という理由を聞き手がすでに知っているようなニュアンスになる。上に挙げた *-nurako* は先行する述語が動詞であることを前提とする。即ち、形容詞や名詞 + 指定詞(コピュラ)を先行述語とすることが出来ないという制約があるため、(8)では用いることができない。

³ Hwang Hwa-Sang (2008:58) 脚注1参照.

【趨向／移動の目的】

(9) あの人は本を買いに行った。

그 사람은 책을 사러 갔다.

ku salam-un chayk-ul sa-le ka-ss-ta

あの 人-TOP 本-ACC 買う-CVB 行く-PST-DEC

朝鮮語の移動の目的を表す連結語尾は -(u)re である。連結語尾 -(u)re は従属節と主節の主語が同一でなければならない。従属節の用言は動詞だけが可能であり、その動詞に時制を表す -(a/e)ss- , -keyss- を結合するのは不可能である。-(u)re に後行する動詞は日本語と同様に移動性を含意するものである。ka- (行く), naka- (出かける), nao- (出てくる), nayryeka- (降りて行く, 下る), tani- (通う), tolaka- (帰る), pangmunha- (訪れる), tullu- (立ち寄る), tuleka- (入る, 入って行く), tuleo- (入る, 入って来る) などの動詞が後行することが多い。

【目的・意図】

(10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた。

(그는) 바깥이 잘 [보이도록/보이게] 창문을 열었다.

(ku-nun) pakkath-i cal [poi-tolok / poi-key] changmwun-ul yel-ess-ta

彼-TOP 外-NOM よく 見える-CVB / 見える-CVB 窓-ACC 開ける-PST-DEC

朝鮮語の目的や意図を表す連結語尾には -tolok と -key がある。(10) では -tolok と -key 両方を用いることができるが、-key が動詞のみならず形容詞とも頻繁に結合して用いられるのに対し、-tolok は主に動詞と結合する傾向がある。

【恒常的条件】

(11) ここでは夏になると、よく雨が降ります。

여기는 여름이면 비가 자주 옵니다.

yeki-nun yelum-i-myen pi-ka cacwu o-pnita

ここ-TOP 夏-COP-CVB 雨-NOM よく 来る-DEC.POL

朝鮮語の条件を表す連結語尾は -(u)myen, -ketun, -(a/e)ya がある。条件文や仮定文全般に -(u)myen を用いることができる。それに対し、-ketun は条件文のみで用いられ、後節が必ず命令文や勧誘文であるという制約がある。また、-(u)myen が単純に条件や根拠を表すのに対し、-(a/e)ya は Swuni-ka w-aya ka-l swu iss-ta. (スニが来てはじめて行くことができる) のように必須条件を表す。

条件を表す日本語のナラ・ト・バ・タラはおおむね -(u)myen を用いて表すことができる。(11) のように恒常的条件の意味を表す時は copula + -(u)myen の形で用いる。toy- (なる) と結合した toy-myen (なったら) は恒常の意味はないため、恒常の意味を表すときは enjeyna, hangsang, nul (いつも, 常に), kkok (必ず) のような副詞を加えることになる。

【確定条件・生起】

(12) 窓を開けると、冷たい風が入って来た。

창문을 [여니(까)/열었더니] 차가운 바람이 들어왔다.

changmwun-ul [ye-ni(kka) / yel-ess-teni] chakaw-un palam-i

窓-ACC 開ける-CVB / 開ける-PST-CVB 冷たい-ADN 風-NOM

tul-e-w-ass-ta.

入る-CVB-来る-PST-DEC

継起的連続の場合、日本語では条件形式が使えるが朝鮮語では条件形式ではなく、理由形式のひとつである -(u)nikka, または -teni を用いる。-teni はある出来事に続き他の出来事が連続的に起きる際に用いる連結語尾である。-teni は 1 人称主語の場合は用いることができず、1 人称主語の場合は過去を表す -(a/e)ss- と結合し、(12) のように -ess-teni の形で用いられる。

【確定条件・発見】

(13) 坂を上ると、海が見えた。

언덕을 [올라가니(까)/올라갔더니] 바다가 보였다.

entek-ul [olla-ka-ni(kka) / olla-ka-ss-teni] pata-ka poy-ess-ta

丘-ACC 上がる.CVB-行く-CVB / 上がる.CVB-行く-PST-CVB 海-NOM 見える-PST-DEC

(12)と同様である。

【仮定条件】

(14) 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。

내일 비가 오면 나는 거기에 안 간다.

nayil pi-ka o-myen na-nun keki-ey an ka-nta

明日 雨-NOM 来る-CVB わたし-TOP そこ-DAT NEG 行く-DEC

(11) のように仮定条件の場合も -(u)myen を用いる。

【反実仮想】

(15) もっと早く起きればよかったなあ。

(좀)더 일찍 일어났으면 [좋았을 걸/좋았을 텐데].

(com)te ilccik ilena-ss-umyen [coh-ass-ul kel/

(少し)もっと 早く 起きる-PST-CVB よい-PST-ADN.FUT BN.ACC

coh-ass-ul theyntey.]

よい-PST-ADN.FUT BN.COP.CVB

韓国語の反実仮想では (15) のように過去を表す -(a/e)ss- と結合した -ss-umyen の形を用いる。主に現在の事柄に反する状況を仮定し、過去の出来事に対する後悔を表す。

【反実仮想・前件否定】

(16) あんなところに行かなければよかった。

그런 데 안 [갔으면/갔더라면] [좋았을 걸/좋았을 텐데].

kulen tey an [ka-ss-umyen / ka-ss-telamyen] [coh-ass-ul kel

そうだ-ADN ところ NEG 行く-PST-CVB / 行く-PST-CVB よい-PST-ADN.FUT BN.ACC

/ coh-ass-ul theyntey.]

よい-PST-ADN.FUT BN.COP.CVB

(15) と同様に過去を表す -(a/e)ss- と結合した -ss-umyen の形を用いるか、さらに過去回想を表す -te が加わった -ss-telamyen を用いる。

【一般的真理】

(17) 1 に 1 を足せば、2 になる。

1 에 1 을 더하면 2 가 된다.

1-ey 1-ul teha-myen 2-ka toy-nta.

1-DAT 1-ACC 加える-CVB 2-NOM なる-DEC.

一般的真理の場合も (11) や (14) のように -(u)myen を用いる。

【仮定条件+働きかけのモダリティ】

(18) 駅に着いたら電話をしてください。

역에 도착하면 전화해 주세요.

yek-ey tochakha-myen cenhwahay cwu-seyyo.

駅-DAT 到着する-CVB 電話する.CVB あげる-IMP.HON

(18) の仮定条件+働きかけのモダリティでも -(u)myen を用いる。

【仮定条件+願望】

(19) 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。

이번 일요일에 다 같이 공원에 가고 싶다.

ipen ilyoil-ey ta kathi kongwen-ey ka-ko siph-ta.
今度 日曜日-DAT みんな 一緒に 公園-DAT 行く-CVB DESI-DEC

朝鮮語では後節が願望である場合、時間を表す副詞と条件形式が結合するとやや不自然であるが、理由ははっきりしない。ここは条件形式を用いずに単に ipen ilyoil-ey (今度の日曜日) とするか、あるいは ilyoil-i o-myen (日曜日-NOM 来る-CVB 日曜日が来たら) のように表す必要がある。

【心配】

(20) 明日雨が降ったら困るなあ。

내일 비 오면 곤란한데.

nayil pi o-myen konlanha-ntey.
明日 雨 来る-CVB 困る-CVB

この (20) もやはり -(u)myen を用いる。

【時間的前後関係に則していないナラ条件文】

(21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。

집에 올 거면 전화하고 오세요.

cip-ey o-l ke-myen cenhwaha-ko o-seyyo.
家-DAT 来る-ADN.FUT BN-CVB 電話する-CVB 来る-IMP.HON

ここでは「家に来るなら」が聞き手の意志を伴う条件のため、o-myen (来る-CVB) ではなく o-l ke-myen 「来るのであれば、来るなら」としなければならない。

【予想を伴った条件文】

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、教えてください。

a. 벨이 울리면, 알려주세요.

peyl-i wulli-myen ally-e cwu-seyyo.
ベル-NOM 鳴る-CVB 知らせる-CVB あげる-IMP.HON

b. 벨이 울리거든, 알려주세요.

peyl-i wulli-ketun ally-e cwu-seyyo.
 ベル-NOM 鳴る-CVB 知らせる-CVB あげる-IMP.HON

(11) ですでに述べたように -ketun は条件文のみで用いられ、後節が必ず命令文または勧誘文であることを前提とする。(22) は命令文であるため、(22a) のように -(u)myen を用いることも (22b) のように -ketun を用いることもできる。

【予想を伴わない条件文】

(23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので] もし鳴ったら、教えてください。

혹시(만약에) 벨이 울리면 가르쳐 주세요.

hoksi peyl-i wulli-myen ally-e cwu-seyyo.
 もし ベル-NOM 鳴る-CVB 知らせる-CVB あげる-IMP.HON

(23)のように予想を伴わない条件文の場合は主に -(u)myen を用いる。(22) で挙げた -ketun は -(u)myen と比べ予想を伴った条件や比較的实现可能性が高いと考えられる場合用いられることが多いため、予想を伴わない条件文ではやや不自然である。

【相關構文】

(24) 働かざるもの食うべからず。

일하지 않는 자 먹지도 말라.

ilha-ci anh-nun ca mek-ci-to mal-la.
 働く-NMLZ NEG-ADN 者 食べる-NMLZ-も やめる-QUOT.IMP

朝鮮語には基本的に相關構文は存在しないと考えられるが、一部の方言では相關構文が使用されるようである。⁴

次の (25) から (27) はいわゆる言いさし (insubordination) の項目である。朝鮮語においてもこの現象は観察されるが、(26), (27) のような場合、朝鮮語では言いさしで表すことができない。(25) は言いさしと呼べるかもしれないが、日本語のように条件節で終止させることはできないようである。日本語と朝鮮語の言いさしの対照については3章で簡単に見

⁴ B・R さん (吉林省吉林市出身, 20 代女性) によれば, 吉林省吉林市の朝鮮語では “elma kac-ko siph-umyen elma cwu-ikkey (いくら 持つ-CVB DESI-CVB いくら あげる-PRM)” で, 「ほしただけあげるよ」のような表現が可能だという。中国語の影響とも考えられるが, 詳しい調査が必要である。

ることにする.

【言いさし・願望】

(25) もう少しお金があったらなあ.

돈 좀 있었으면 좋을 텐데.

ton com iss-ess-umyen coh-ul theyntey.

お金 少し ある-PST-CVB よい-ADN.FUT BN.COP.CVB

朝鮮語は条件節で終止すると不自然であり「お金があったらいいはずなのに」のように表さなければならない. -(u)l theyntey は未来連体形の語尾 -(u)l, 形式名詞 the に指定詞 -ita と連結語尾 -(u)ntey から成る -(u)l theintey の縮約形と説明され, -(u)l theyntey の形でよく用いられる. 連結語尾 -(u)ntey が付いた形であるので, これも一種の言いさしと見なすことができるであろう.

【言いさし・提案】

(26) これも食べたら?

이것도 먹을래?

ikes-to mek-ullay?

これ-も 食べる-VOL

(26) は言いさしで表すことはできず, 意志, 意向を表す -(u)llay という形式を用いて「これも食べる (食べたい) ?」のように表す必要がある.

【言いさし・つき放し】

(27) やりたいなら (自分の) 好きなようにやれば?

하고 싶으면 (니) 마음대로 하지 (그래).

ha-ko siph-umyen (ni) maum-taylo ha-ci (kulay).

する-CVB DESI-CVB (おまえ.GEN) 心-まま する-COHOR (そうする.DEC.NPOL)

この例でもやはり朝鮮語では言いさしで表現することはできないが, 終結語尾 -ci を用いて勧誘, 提案のように意味を表すことができる. この場合, kuleta (そうする) をさらに補い -ci kulay という形で用いることも可能である.

【仮定的な逆接】

(28) このコップは落としても割れない.

이 컵은 떨어뜨려도 깨지지 않는다.

i khep-un ttelettuly-eto kkayci-ci anh-nunta.
この コップ-TOP 落とす-CVB 割れる-NMLZ NEG-DEC

日本語の「ても」に近い意味を表す連結語尾には (28) で用いた -(a/e)to の他に, -terato もあるが, 後者はより仮定の意味が強いとされる。

【アクチュアルな逆接】

(29) このリンゴは高かったのに, ちっとも甘くない。

이 사과는 비쌌는데 하나도 달지 않다.

i sakwa-nun pissa-ss-nuntay hana-to tal-ci anh-ta.
この リンゴ-TOP 高い-PST-CVB ひとつも 甘い-NMLZ NEG-DEC

【逆接 3】

(30) 彼の家に行ってみたけれども, 彼はいなかった。

그의 집에 [가 봤는데/가 봤지만] 그는 없었다.

ku-uy cip-ey [ka pwa-ss-nuntay / ka pwa-ss-ciman] ku-nun
彼-GEN 家-DAT 行く.CVB みる-PST-CVB / 行く.CVB みる-PST-CVB 彼-TOP
eps-ess-ta.
いない-PST-DEC

この例では -nuntay も -ciman も共に用いることができるが, 前者は話し言葉的である。また前者は逆接以外の意味も表すが, 後者は逆接専用である。

【時間的期限 [1]】

(31) あの人が来るまで, 私はここで待っています。

그 사람이 올 때까지 나는 여기서 기다리겠습니다.

ku salam-i o-l ttay-kkaci na-nun yekise kitali-keyss-supnita
あの 人-NOM 来る-ADN.FUT 時-まで わたし-TOP ここで 待つ-PROB-DEC.POL

この (31) と次の (32) の例に見るように, 朝鮮語では特に「まで」と「までに」は区別がない。

【時間的期限 [2]】

(32) あの人が来るまでに, 食事を作っておきますよ。

그 사람이 올 때까지 식사 준비를 해 두겠습니다.

ku salam-i o-l ttay-kkaci siksa cwunpi-lul hay twu-keyss-supnita
その人-NOM 来る-ADN.FUT 時-まで 食事 準備-ACC する.CVB 置く-PROB-DEC.POL

3. 日本語と朝鮮語における連用修飾的複文の対照

ここでは、これまでアンケートに答えながら見てきた朝鮮語の例を基に、若干の考察を加える。日本語と朝鮮語の連用修飾的複文を対照したときに特徴的だった点、3.1 日本語のテ形と朝鮮語の連結語尾、3.2 日本語と朝鮮語の言いさしについて述べていく。

3.1. 日本語のテ形と朝鮮語の連結語尾

日本語のテ形に対応する朝鮮語の連結語尾には (2) から (5) の例で見たように -(a/e)se, -ko があるが、その他にも様々な形式がある。

Ocaxhi Tassuci (2007) は対訳資料により日本語のテ形と朝鮮語の連結語尾の対照をしている。Ocaxhi Tassuci (2007: 111) によって主な例を挙げると、テ形の用例 719 例に対し、293 例が -(a/e)se または -a/e (連用形) であり、続いて 132 例が -ko, 34 例が -(u)mye, 24 例が -(u)myense, 11 例が -taka であったという。やはり -(a/e)se, -ko が多いが、テ形と「同時」を表す -mye, -myense との対応関係も興味深い。Ocaxhi Tassuci (2007) では挙げられていないため、筆者が小説の対訳資料を用いて調査した結果、日本語のテ形に対応する -(u)myense の例には次のようなものが見つかった。

ただ、小学校が閉鎖になり、父親が暴漢に襲われて肩から血を流して帰宅するような頃になると… (後略) (伊坂幸太郎, 終末のフール, p.155)

kulena hakkyo-ka phyeysway-toy-ko, apeci-ka koyhan-eykey tanghay
しかし 学校-NOM 閉鎖-PASS-CVB 父-NOM 怪漢-DAT やられる.CVB

ekkay-ey phi-lul hulli-myense cip-ey tolao-l cikyeng-i toy-ca
肩-DAT 血-ACC 流す-CVB 家-DAT 帰ってくる-ADN.FUT ほど-NOM なる-CVB

(Isakha Kothalo, Congmaluy papo, p.181)

3.2. 日本語と朝鮮語の言いさし

日本語と朝鮮語の言いさしについて、(26), (27) の例のところで見たように、日本語では条件節が言いさしとして用いられ、提案の意味を表したりするが朝鮮語では言いさしを用いてそのような意味を表すことは難しいようである。朝鮮語は (25) で見たように条件節のみで終止させると不自然になる。(25) を再引用する。

(25) もう少しお金があったらなあ.

ton com iss-ess-umyen coh-ul theyntey.
 お金 少し ある-PST-CVB よい-ADN.FUT BN.COP.CVB

歴史的には -ketun は制限なく用いられていたが、すでに (11) のところで述べたように現代語では使用範囲が限定されており、条件節としては主に -(u)myen が用いられている。そして -ketun は主節化して「他の事実の根拠」を説明する用法を持つようになっている。

Swuni: way hangsang siksa ttay kimchi-lul mek-e-yo?
 なぜ いつも 食事 時 キムチ-ACC 食べる-DEC-POL
 Yengswu: na-n pap mekul ttay kkok kimchi panchan-i
 わたし-TOP ご飯 食べる-AND.FUT 時 必ず キムチ おかず-NOM
 iss-eya ha-ketun.
 ある-CVB する-ketun

スニ：どうしていつも食事の時、キムチを食べるのですか？

ヨンス：私はご飯を食べる時、必ずキムチのおかずがないと駄目なんだよ。

(韓国・国立国語院. 2012, p.11)

また、(1) の例のところで述べたように「同時」を表す -(u)myense は日本語の「ながら」と同じように逆接的な用法を持つが、次のように言いさしとして用いられる場合は、日本語では「ながら」で表せないだろう。

kille-po-ci-to anh-ass-umyense!
 育てる-みる-NMLZ-も NEG-PST-CVB
 「育てたこともないくせに！」

(黒島規史. 2014, p.309)

日本語と朝鮮語で言いさしには類似した点も多いが、このように異なる点もある。

4. まとめ

本稿のアンケートを通して確認されたことを大きくまとめると次の3点に集約できるだろう。

- ① 日本語のテ形が表すような意味を、朝鮮語では多数の形式によって表している。
- ② 日本語は条件形式が多いのに対し、現代朝鮮語では主に一つの形式しか用いられていない。

- ③ 条件形式が言いさしとして用いられる場合、日本語と朝鮮語ではその機能が大きく異なる。また、朝鮮語の言いさしは日本語と類似した点も多いが、提案やつき放しの意味は表せない。

略号一覧

ACC	accusative	対格	IMP	imperative	命令
ADN	adnominal	連体形	LOC	locative	位格
BN	bound noun	形式名詞	N-	non-	非-
COHOR	cohortative	勧誘	NEG	negative	否定
COMP	comparative	比較格	NMLZ	nominalizer	名詞化
COP	copula	指定詞	NOM	nominative	主格
CVB	converb	副動詞	POL	polite	丁寧
DAT	dative-locative	与位格	PRM	promissive	約束法
DEC	declarative	陳述	PROB	probability	蓋然性
DESI	desiderative	願望	PST	past	過去
FUT	future	未来	QUOT	quotative	引用
GEN	genitive	属格	TOP	topic	主題
HON	honorific	尊敬	VOL	volitive	意志法

参考文献

韓国語で書かれたもの

- Han Song-Hwa. 2007. “ ‘-ule’wa ‘-uleygo’ yengu” [‘-ule’と‘-uleygo’ 研究]. *Emunchonglon*, vol.47, 343-372.
- Hwang Hwa-Sang. 2008. “yenkyelemi ‘-ese, -nikka’ uy uymi kinung kwa hwuhyangcel” [連結語尾 ‘-ese, -nikka’の意味機能と後行節]. *Kwukihak*, vol.51, 57-89.
- Kwuklipkwukewen. 2005. *Oykwukinul wihan hankwuke mwunpep2 — Yongpep phyen* [外国人のための韓国語文法2 — 用法編], Seoul: Khemyunikheyisyenpwuksu (韓国・国立国語院).
2012. 『標準韓国語文法辞典』, 東京: アルク)
- Lee Hee-ja・Lee Jong-hee. 2006. *Hankwuke haksup haksupcayong emi・cosa sacen* [韓国語学習者用 語尾・助詞辞典], Seoul: Hankwukmunhwasu.
- Nam Kisim, Ko Yengkun. 2011³. *Phyocwun kwukemwunpeplon* [標準国語文法論], Seoul: Thapchwulphansa
- Ocaxhi Tassuci. 2007. “Ilpone cepsokcosa ‘-て’wa hankwuke yenkyelemi tayco yenkwu —

- ‘-e(se)’, ‘-ko’wauy taycolul cwungsimulo ——” [日本語の接続助詞 ‘-て’ と韓国語の連結語尾の対照研究 —— ‘-e(se)’, ‘-ko’ との対照を中心に ——]. *Hankul*, vol. 275, 107-127.
- Park Na-Ree. 2013. “Sasil coken uy ‘-myen’ye tyahan tamhwa hwayongcek yengu” [事実条件の ‘-myen’ の談話話用的研究]. *Kwukehak*, vol. 68, 289-321.
- Yi Eun-gyeong. 2007. “‘-ese’cel kwa ‘-nikka’cel uy seswule yuhyeng” [‘-ese’節と ‘-nikka’節の叙述後類型]. *Hankwukehak*, vol.36, 221-248.

日本語で書かれたのもの

- 菅野裕臣. 1982. 「(複・重文の構成) 朝鮮語」, 『講座日本語学 11』, 東京: 明治書院, pp.259-267.
- 風間伸次郎. 2012. 「アルタイ型言語における準動詞と言いさしについて」, 『北方言語研究』 2, 北海道大学大学院文学研究科, pp.139-162.
- 黒島規史. 2014 「現代朝鮮語の「言いさし」における節の構造とモダリティの関係について」, 『日本言語学会第 148 回大会 予稿集』, 日本言語学会, pp.308-313.

用例を収集した資料

- 伊坂幸太郎. 2006. 『終末のフール』 東京: 集英社
- Yun Tekcwu 訳. 2006. *Congmaluy papo*, Seoul: Layntemhawusukholia